

4 長久手町のまちづくりについて

ここでは、まず、第4次長久手町総合計画における各分野別の施策の推進状況評価・重要度についての結果を示し、それぞれの項目が対比できるように項目順に表した（P. 26～29）。次にそれぞれについて得点化して平均点を算出したものを高い順に表し（P. 30～32）、最後に推進状況評価を横軸に、重要度を縦軸として散布図で示した（P. 33）。

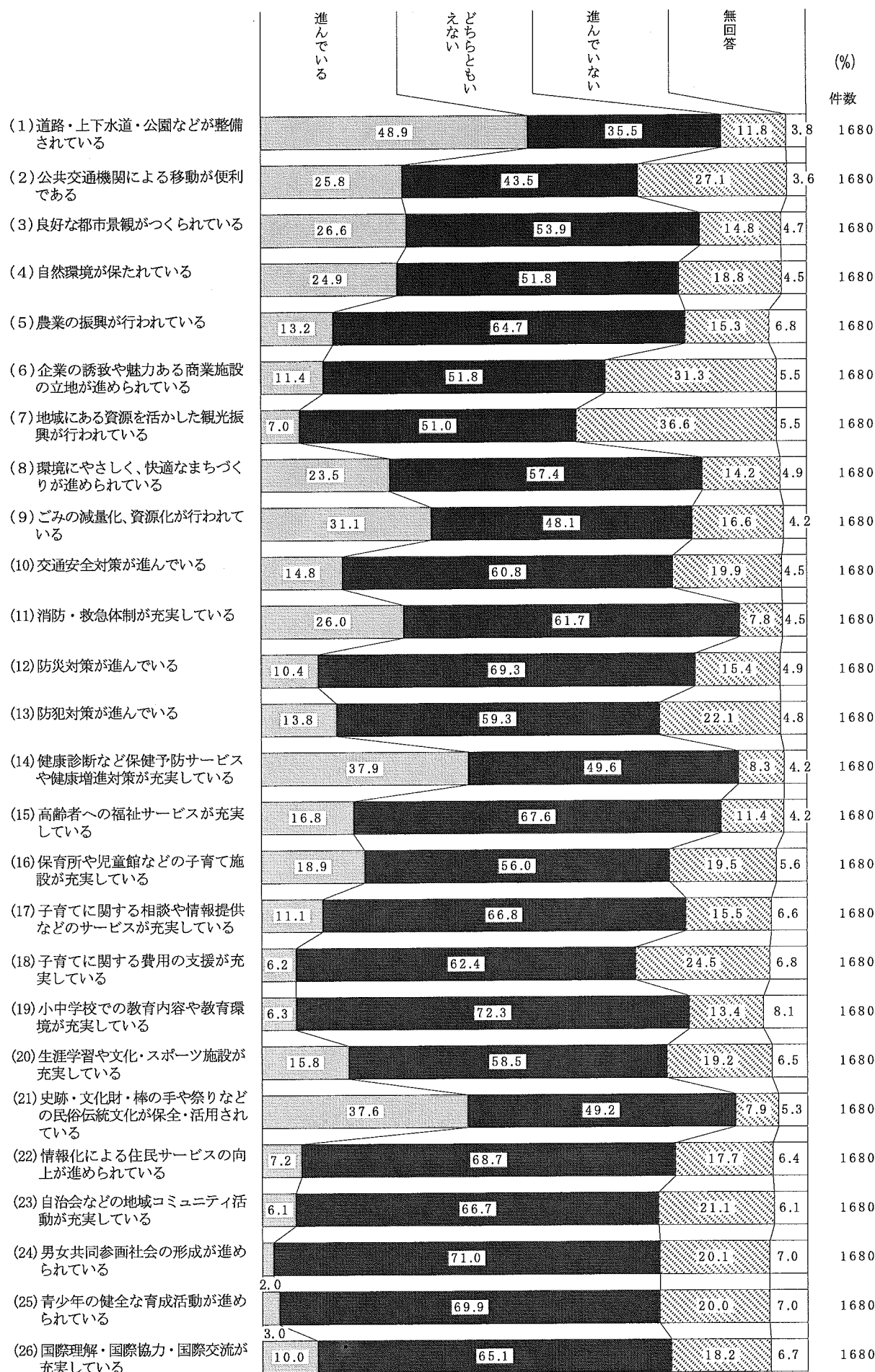
4-1 施策の推進状況評価

問13-1 長久手町では、平成11年に策定した「第4次長久手町総合計画」で4つの施策大綱を掲げまちづくりに取り組んできました。

26項目について、施策がどの程度進んでいるとお考えですか。（1つずつ）

- 『進んでいる』の割合が多い項目は、「(1) 道路・上下水道・公園などが整備されている」が約5割と最も多く、次いで「(14) 健康診断など保健予防サービスや健康増進対策が充実している」「(21) 史跡・文化財、棒の手や祭りなどの民俗伝統文化が保全・活用されている」が約4割、「(9) ごみの減量化、資源化が行われている」が約3割と続いている。

一方、『進んでいない』の割合が多い項目は、「(7) 地域にある資源を活かした観光振興が行われている」が4割近くと最も多く、次いで「(6) 企業の誘致や魅力ある商業施設の立地が進められている」が約3割と続いている。

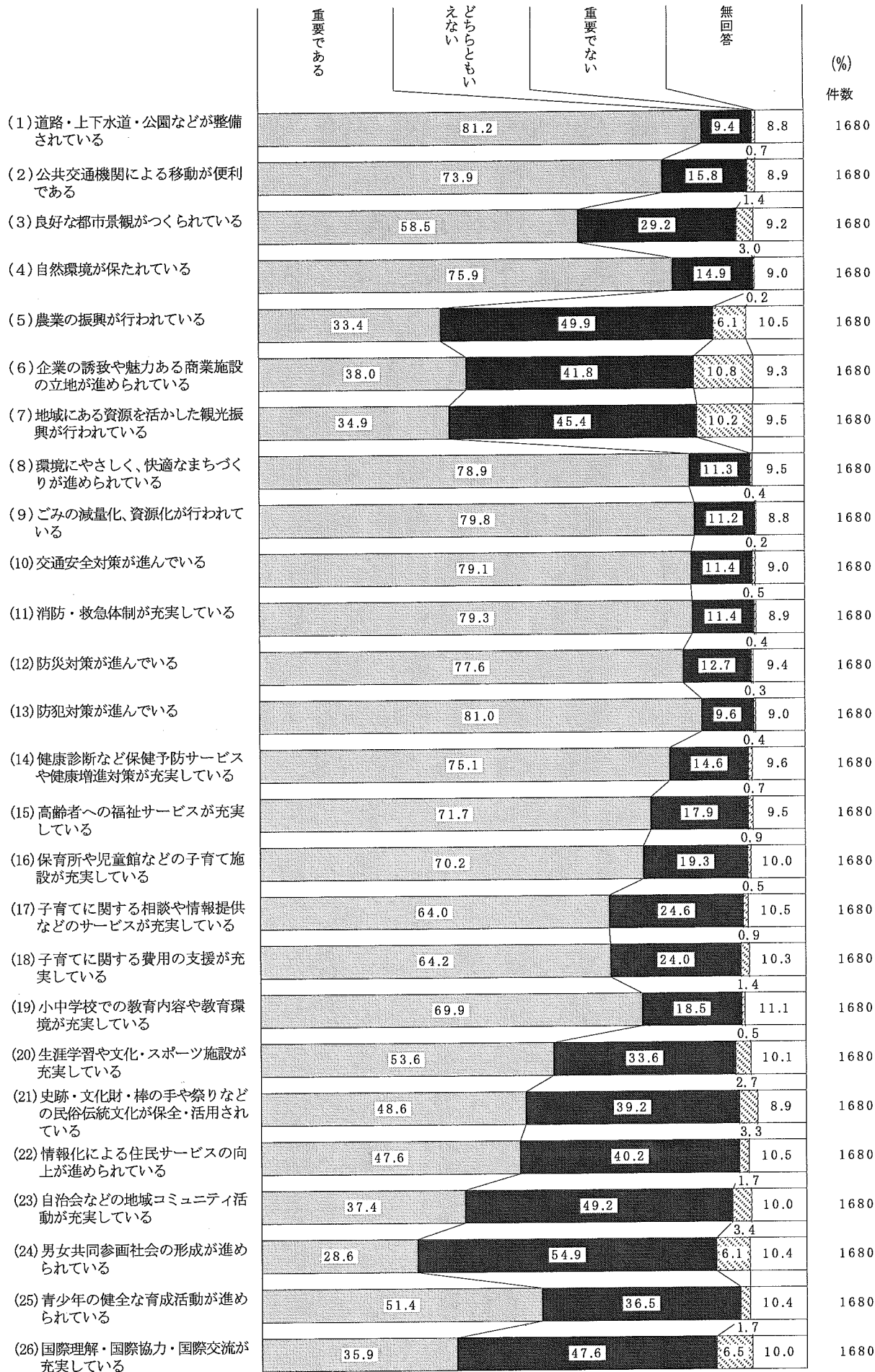


4－2 施策の重要度

問13－2 26項目について行政の取り組みとして、どの程度重要だとお考えですか。（1つずつ）

- ほとんどの項目で『重要である』が最も多くなっている。26項目のうち18項目では5割を超え、さらに12項目で7割を超えている。特に「(1)道路・上下水道・公園などが整備されている」「(13)防犯対策が進んでいる」は8割を超えており、日常生活と関わりの深い項目では重要度が高くなっている。

一方、『重要である』の割合が低い項目は、「(24)男女共同参画社会の形成が進められている」が最も少なく、次いで「(5)農業の振興が行われている」「(7)地域にある資源を活かした観光振興が行われている」「(26)国際理解・国際協力・国際交流が充実している」「(23)自治会などの地域コミュニティ活動が充実している」「(6)企業の誘致や魅力ある商業施設の立地が進められている」となっており、男女共同参画、農業振興、観光振興、国際交流、地域コミュニティ、商業振興など、日常生活との関わりが深くない項目では重要度が低くなっている。



推進状況評価と重要度の得点化による分析

施策の推進状況評価と重要度については、以下の表のように得点化し、平均点を算出して高い順に表した。なお、「無回答」については、無効票としている。

「進んでいる」	「重要である」	2点
「どちらともいえない」	「どちらともいえない」	0点
「進んでいない」	「重要でない」	-2点

- 施策の推進状況評価が高い項目（P. 31）は、「道路・上下水道・公園などが整備されている」が0.77で最も多く、「史跡・文化財、棒の手や祭りなどの民俗伝統文化が保全・活用されている」が0.63、「健康診断など保健予防サービスや健康増進対策が充実している」が0.62と続いている。

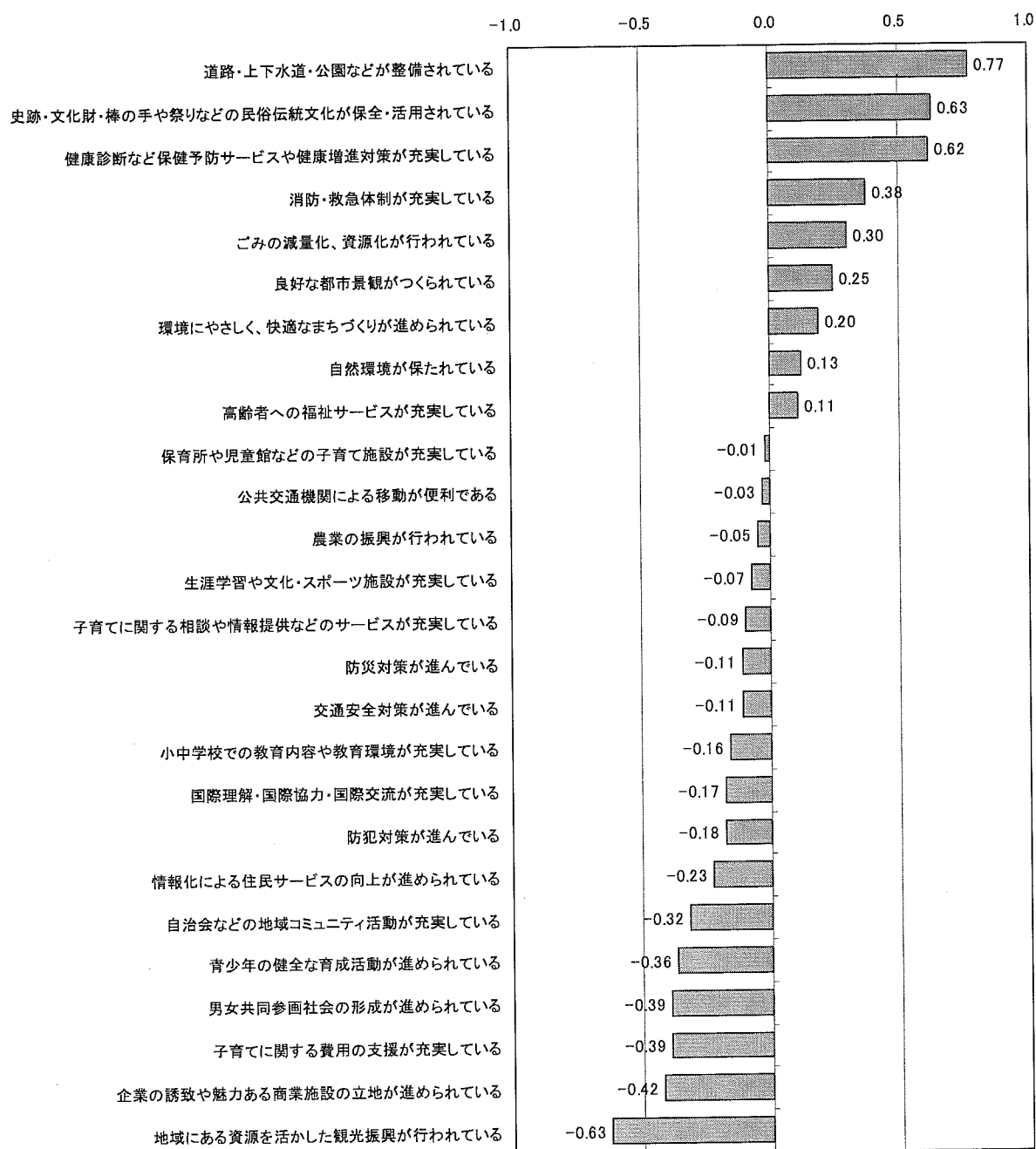
一方、評価の低い項目は、「地域にある資源を活かした観光振興が行われている」が-0.63、「企業の誘致や魅力ある商業施設の立地が進められている」が-0.42となっている。

評価が高かった項目は、土地区画整理事業などによる住環境の整備、主要幹線道路が整備されたこと、下水道事業が推進されたこと、保健センターを中心とした健康診断・各種予防診断などの健康増進施策が拡充されたこと、ごみの分別収集・資源回収の充実、福祉の家のオープンなどが評価されたと考えられる。

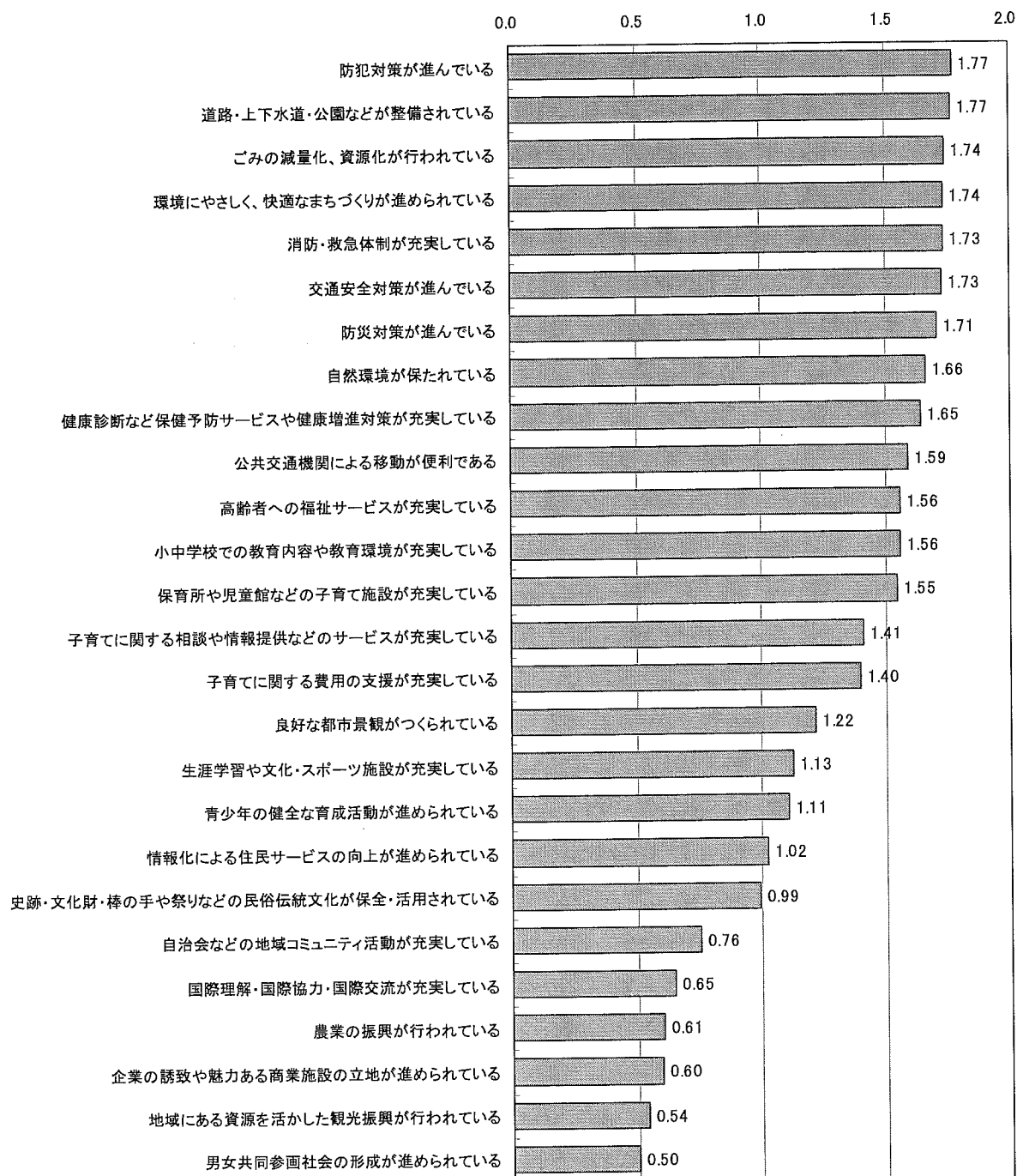
- 重要度については（P. 32）、すべての項目でプラスの評価となっている。特に、「防犯対策が進んでいる」「道路・上下水道・公園などが整備されている」は、それぞれ1.77と最も高くなっている。

これらは、日常生活と直接関わりの深い項目に対する重要度の高さを示しており、快適で安心して暮らせるまちづくりが求められていると考えられる。

施策の推進状況評価（得点の平均値）



施策の重要度（得点の平均値）

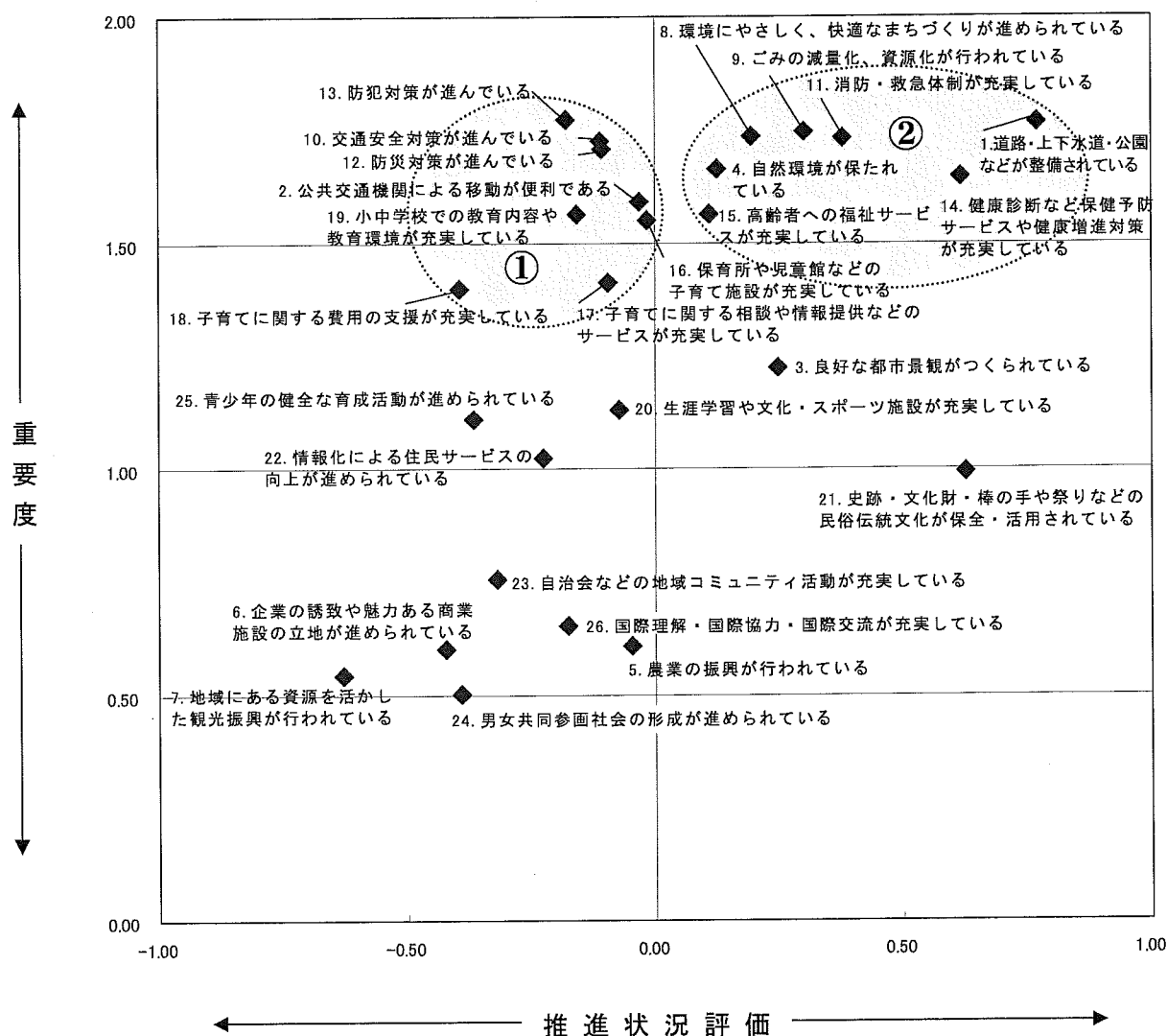


施策の推進状況評価と重要度

- 施策の推進状況評価を横軸に、重要度を縦軸として散布図で示した。

散布図の中心から左上の部分①は、重要度は高いものの、施策の推進状況評価は低い項目であり、今後特に力を入れて取り組むべき項目であると考えられる。具体的には、防犯・交通安全・防災などの安心・安全な暮らしに対する施策、子育て支援や保育・児童施設などの児童福祉施策、小中学校における教育施策、公共交通施策が挙げられる。

一方、散布図の中心から右上の部分②は、重要度が高く、施策の推進状況評価も高い項目であり、今後も引き続き推進していくべき項目であると考えられる。具体的には、都市基盤整備、健康増進事業、ごみ・環境対策、高齢者福祉、消防・救急などが挙げられる。

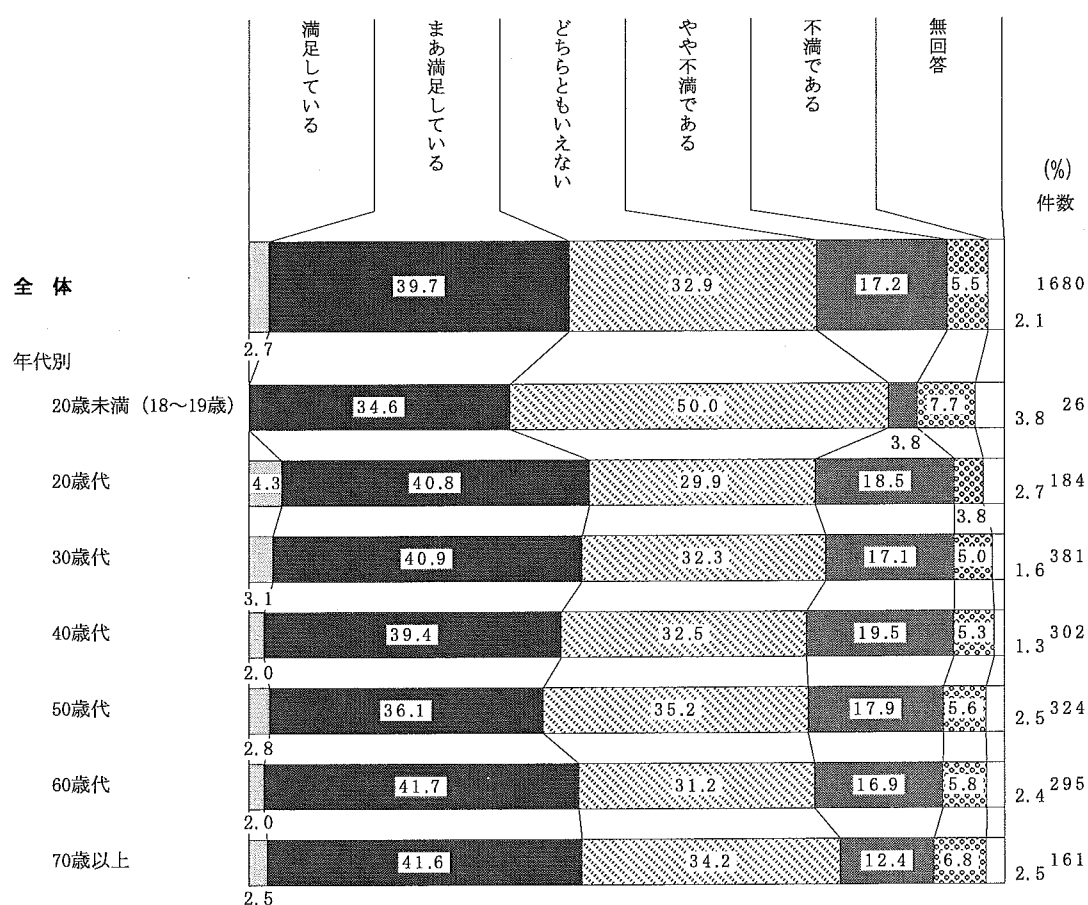


4-3 町政全般の満足度

問14 あなたは、町政全般についてどの程度満足していますか。（1つだけ）

- 町政全般の満足度は、“満足している”が約4割、“不満である”が約2割であり、満足度が高い状況にある。

年代別で見ても、ほとんどの年代で“満足している”が4割を超えて多く、年代による大きな差はない。



- 前回調査と比較すると、“満足している”は5.4ポイント増加し、“不満である”は2.7ポイント減少している。

